

島に住む幸せ・島で働く笑顔・交流する島の活力ー生きる幸せが実感できる島ー

いへやそん

伊平屋村



市町村コード	473596	類型	I-0
所在地	〒905-0793 伊平屋村字我喜屋251番地		
T E L	(0980)46-2001	F A X	(0980)46-2956
ホームページ	http://www.vill.iheya.okinawa.jp		
指定地域	離島・過疎・辺地・農業振興・産業高度・観光促進		

(組織)

(平成29年3月31日現在)

村長	いれいゆきお 伊礼幸雄 任期 H29.9.12 (2期)	副村長 いれいきよし 伊礼清 任期 H31.3.31 (2期)
	-	
副村長	-	教育長 ひがしおんなよしかず 東恩納吉一 任期 H30.3.31 (2期)
	-	-

(概要)

県下 25 位	耕地 H28.7.15	宅地 H28.1.1
総面積 H28.10.1	21.82 km <sup>2</sup>	400,562 m <sup>2</sup>

県下 34 位	H27国調人口	H22国調人口
住基人口 H28.1.1	1,288 人	1,385 人
年少人口割合 19.1% (県全体 17.4%)	高齢化率 26.3% (県全体 19.6%)	

住基世帯数 H28.1.1	H27国調世帯数	H22国調世帯数
586 世帯	516 世帯	523 世帯

有権者数 H29.3.2	男	女
987 人	533 人	454 人

議長	きんじょうのぶみつ 金城信光	副議長	かのうさだお 嘉納貞夫
議員	条例定数	現議員数	任期満了日
	8	8	H30.9.27
議員	常任委員会		党派構成
	総務文教民生、経済建設		無所属 8

沿革	明治41年4月1日 村制施行
	昭和14年7月1日 伊是名村が分離
	-
	-
	-
	-

H28.4.1現在	合計	普通会計	特別会計
職員	61 人	46 人	15 人
人口千人当たり職員数	47.36 人	35.71 人	11.65 人
各4.1現在	平成28年度	平成27年度	平成26年度
職員数 (普通会計)	46 人	45 人	46 人
類似団体	-	27 (35)	28 (38)
ラス指数	86.2	87.9	86.2

※類似団体()は修正値。ラス指数の()は国家公務員の給与改定特例法による減額措置が無い場合。

(村の花・木・鳥・魚・名所・旧跡・祭・行事等)

村花	ツツジ(トウサンキ)	村木	クバ
村鳥	-	村魚	イシミーバイ
名所・旧跡	念頭平松、天の岩戸、くば山、無蔵水、屋蔵墓、野甫大橋、神アシヤギ		
祭り・行事	豊年祭、いへやまつり、田名のウンジャミ、我喜屋大綱引き、伊平屋ムーンライトマラソン、伊平屋ヴィレッジトレイル		
名産・特産	黒糖、米(ちゆらひかり)、モズク、アサア、照島(泡盛)、ヤイトハタ、たまねぎ、黒糖アガラスーミックス		
姉妹都市	-		
その他	鳥取県境港市(児童交流)		

(基本構想)

基本構想	H24~H33	中長期財政計画	無
基本計画	H24~H33	( - )	( - )
実施計画	H24~H33	( 2年計画 1年ローリング )	

(平成29年度主要事業) (百万円)

区分	事業名	新・継	事業費
補助	新伊平屋村製糖工場建設事業	新規	612
補助	伊平屋小学校校舎建設事業	継続	584
補助	伊平屋村農業用資材(堆肥)供給施設機能強化事業	継続	285
-	-	-	-

(今後の主要プロジェクト) (百万円)

区分	事業名	実施年度	事業費
補助	新伊平屋村製糖工場建設事業	H29~H31	4,800
補助	伊平屋小学校校舎建設事業	H28~H29	1,380
補助	伊平屋地区漁港整備事業	H26~H31	1,128
-	-	-	-

(広域市町村圏・広域計画)

北部広域行政圏計画
地域経済活性化計画
北部地方拠点地域基本計画
-

(基地面積) (H28.3末)

米国軍	0.0 ha
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
自衛隊	-
基地面積	0.0 ha
市町村面積に占める割合	-
合計	- ha
異面積に占める割合	-

〔教育〕

(平成28年5月1日現在)

区分	施設数	児童生徒数
村立幼稚園	1園	8人
村立小学校	2校	101人
中学校	2校	51人
村立	2校	51人
村立以外	0校	0人

〔医療〕

(平成27年度)

区分	施設数	病床数
病院	0箇所	0床
村立	0箇所	0床
村立以外	0箇所	0床
診療所	2箇所	0床
村立	1箇所	0床
村立以外	1箇所	0床
住民千人当たり病床数		0.0床

〔産業〕

①産業別就業者数 (H22四半)

区分	就業者数	構成比
第1次	129人	21.9%
第2次	110人	18.6%
第3次	347人	58.8%
合計	590人	100.0%

②村内純生産

(H25年度実数)(百万円)

分類	純生産	構成比
農林	93	2.9%
水産	97	3.0%
鉱・製造	85	2.7%
建設	1,359	42.6%
電気ガス水道	40	1.3%
運輸・通信	121	3.8%
卸売・小売	86	2.7%
金融保険不動産	97	3.0%
サービス	307	9.6%
政府サービス生産者	906	28.4%
民間非営利団体	0	0.0%
合計	3,191	100.0%

〔福祉〕

区分	施設数	収容定数
保育所(H28.4.1)	1箇所	60人
村立	1箇所	60人
村立以外	0箇所	0人
生活保護率(H27年度平均)		12.72人
人口千人当たり		

〔財政〕

①決算収支

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度
歳入総額	3,236	3,281	3,211
歳出総額	3,121	3,144	3,062
形式収支	115	138	149
実質収支	89	109	137
比率	7.8%	9.8%	11.9%
積立金	105	44	55
積立金取崩額	60	60	60
実質単年度収支	32	6	22

②主要指標

(百万円)

区分	H25年度	H26年度	H27年度	順位	県平均	市平均	町村平均
財政力指数	0.08	0.08	0.09	39	0.35	0.51	0.29
標準財政規模 a	1,130	1,122	1,147	36	333,767	242,473	91,294
經常収支比率	96.7	86.9	90.5	36	85.3	86.4	82.6
人件費	36.3	36.2	39.2	38	23.4	22.6	25.4
扶助費	1.9	1.0	2.4	10	14.2	17.1	6.8
公債費	25.6	22.1	18.5	33	14.4	14.9	13.3
物件費	16.4	14.2	12.9	11	14.0	13.6	15.2
その他	16.5	13.4	17.5	15	19.3	18.2	21.9
実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
連結実質赤字比率	-	-	-	-	-	-	-
実質公債費比率	16.6	14.2	11.7	37	8.7	9.3	6.9
将来負担比率	70.8	54.5	70.6	-	31.9	45.5	-
税徴収率	84.0	84.9	86.5	37	95.5	95.7	94.7
現年課税分	97.4	97.1	98.0	27	98.5	98.6	98.3
滞納繰越分	15.6	15.1	10.7	41	36.2	37.6	31.7
債務負担行為額 b	0	0	0	-	-	-	-
b/a %	0.0	0.0	0.0	-	-	-	-
地方債現在高 c	1,988	2,044	2,019	-	-	-	-
c/a %	175.8	182.3	176.0	24	-	-	-
積立金現在高	409	396	393	-	-	-	-
財政調整基金	379	364	358	-	-	-	-
減債基金	0	0	0	-	-	-	-
その他特目基金	30	32	34	-	-	-	-
住民1人当たり税負担(円)	58,961	59,268	61,192	1	-	-	-
自主財源比率	16.3	11.9	12.9	40	-	-	-

③公営事業会計等における繰入金の状況

(H27年度 百万円)

区分	実質収支	繰入金	うち財源補填的繰入
国民健康保険事業	40	61	47
老人保健医療事業	0	0	-
介護保険事業(保険)	0	0	-
後期高齢医療事業	0	8	-
区分	実質収支	繰入金	うち基準外繰入
簡易水道事業	△6	39	0
下水道事業	1	32	2
港湾事業	0	14	6
-	0	0	0
-	0	0	0
交通(船舶)事業	12	10	10
-	0	0	0
-	0	0	0

④歳入の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
地方税	79	2.5%
地方譲与税	19	0.6%
地方交付税	1,234	38.4%
普通交付税	978	30.5%
特別交付税	256	8.0%
国庫支出金	123	3.8%
県支出金	1,197	37.3%
地方債	197	6.1%
その他	362	11.3%
歳入総額	3,211	100.0%

④歳出の状況 (H27年度 百万円)

区分	金額	構成
人件費	488	15.9%
物件費	459	15.0%
扶助費	93	3.0%
補助費等	290	9.5%
公債費	244	8.0%
普通建設事業費	1,210	39.5%
補助事業費	1,156	37.8%
単独事業費	47	1.5%
その他	278	9.1%
歳出総額	3,062	100.0%

〔行政の特色〕

『島に住む幸せ・島で働く笑顔・交流する島の活力』～生きる幸せが実感できる島～  
を村の将来像と掲げ、農林漁業の振興、生活環境の整備、教育文化の推進、港湾、空港の整備等、自然環境を大切にしながら、文化生活を営む健康で豊かな村づくりを推進する。